



校長だより(職員編)

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠

授業における「居場所」づくりを目指して!

校内授業研究(中学年部会)を昨日実施しました。
この度は、藤原香奈教諭による第3学年算数の授業提案でした。本中学校区が目指す授業における「居場所」づくりを追究する練りに練られた授業でした。この日を迎えるまでの中学年グループ教職員の絆を大いに感じました。



【タブレットの効果的活用】
個別最適な学びの手立ての1つとして、「ヒントカード」をタブレットで提示!

タブレットの効果的活用場面を精選していましたね。

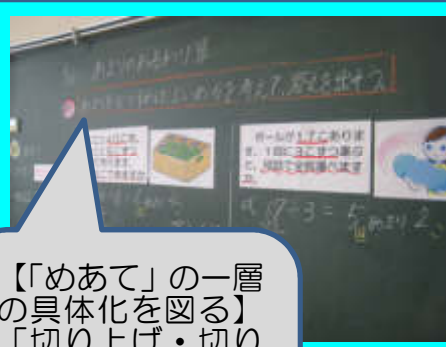


【Shake(揺さぶり)】
「なぜ、切り捨てだと思う? 切り上げだとだめなの?」

LSCを意識した授業展開でしたね。

【必然性のある対話にするために】
対話のために個々が準備する説明の内容に、教師がLimit(条件)を提示しておく。
(「見分ける言葉」を入れる。式も入れる。70文字以内で訳をまとめておく等)

【「まとめ」の一部を児童に考えさせる】
「()という言葉あると切り上げのことが多い。見分ける言葉を見つけたらよい。」等



【「めあて」の一層の具体化を図る】
「切り上げ・切り捨てを見分ける言葉を見つけて、正しく答えを求められることができる」等

適用題を解かせて、本時の習熟度を評価していましたね。

【教師が示した発展的振り返り例】
「身の回りにあるものから、切り上げ・切り捨ての問題づくりをして、友だちに解いてもらいたい。」

適切な発展的振り返り例を示すことができましたね。